

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成30年度 第6回理事会議事録

日時:平成31年2月19日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)14名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、福田悦男、直井秀幸
菊地宜秀、渡辺諭、益子基久、前原延之、阿久津宏一(代理:小林史雄)、日向野剛
山田将樹

欠席:(理事)6名 高橋哲夫、鈴木克美、佐藤智信、新村雅司、日向野信行、佐々木清美
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長:12月から2月と全国大会、関東大会、県大会といろいろあった。選手はそれぞれに成果を上げています。今日は審議事項はないが、報告事項があるので、よろしくお願いします。

2 報告事項

(1)各種大会報告

ア 高体連:県新人大会 男子 優勝 宇工 2位 文星芸大付

女子 優勝 作新 2位 白鷗足利

関東新人:男子 宇工、文星芸大付が出場(一回戦敗退)

女子 作新、白鷗足利が出場し、二回戦敗退

3/9・10に作新において高校強化大会を実施、U13・14・15も参加して強化を図る。

イ ミニ連:全国大会予選 優勝 男子 姿川第二 女子 宮の原

JA共催カップ 優勝 男子 TEAMしもつが 女子 宮の原

関東ミニ大会 女子 宮の原がブロック優勝した。

ウ 社会人:第1回関東社会人選手権大会で、TBCが6位となり、全国大会出場を決めた。

(2)財務部より

ア 新年会決算報告:参加者128名、収入851,000円、支出898,800円 差引残高-47,800円となり協会より補填した。(インフルエンザ等による当日不参加者が多かった。)

イ D-fundの2019年度申請結果について

○ファンドA4,453,000円、ファンドB500万円、合計9,453,000円の内示額をもらった。

ウ 天皇杯・皇后杯の還元金について

○プレックスより収支決算書が上がってきた。

○収入8,902,200円、支出5,053,814円、収支差額3,848,386円となり還元金が769,677円となった。

エ 賛助会からの入金について

オ 平成30年度末会計状況について

○エとオは関連するので一括して説明

○2/5現在の本通帳残高と年度末までに確実に入金される収入を合わせると3,003,682円となる。

○入金予定には、賛助会費の全額入金も見込まれている。

○年度末までに見込まれる支出は、2,915,946円となっている

○今年度の補正予算については、次回の理事会で諮ることになる。

カ 来年度の予算編成について:準備中であり、次回の理事会に諮ることになる。

(3)強化部より

ア 育成センター立ち上げについて

○育成センター立ち上げのために、運営要領(案)をまとめた。

○3/7にスタッフ・強化部・総括マネージャーを集めて立ち上げのための会議を行う。

○要項について、目的・運営スタッフ・指導スタッフ・年間計画・選手名簿(15名±α)運営経費・保険会計・規程・安全対策・緊急時マニュアル等、整備しながら2019年度スタートさせていく。

(4)競技部より

○公営体育館の調整会議がほぼ終了した。

○県北体が7月末まで、県南体が9月以降、TKCいちごが10月以降使えないという不測の状態となった。各連盟でその他の体育館確保に努めてほしい。

○天皇杯・皇后杯県代表決定戦の1日目(7/14)の体育館が確保できていない。

○今後、各連盟の事業計画を事務局まで提出してほしい。

(5)各カテゴリー部会の報告

ア U12部会

○近県大会等に参加するメンバーが決定した。

○男子においてけが等で1名追加があった。

イ U15部会

○来年度のリーグ戦の日程や全国プレ大会予選会の日程について検討している。

○中学校校長会で来年度の登録について説明してきた。

ウ U18部会

○一年生大会を廃止してプレリーグ戦を実施する。

○2020年度からリーグ戦を完全実施したい。

(6)新登録管理システムについて

- 3/27から稼働開始となる。
- 運用については、3/26までに個人情報等に関する規定を作らなければならない。
- マスタ初期設定をした。(2/8)各部門の管理責任者を登録した。
- 登録時の承認は無、県協会への登録料は昨年と同じJBAの1/2、振込先は昨年と同じ
- 収納代行のため、登録時に268円かかる。支払期間は原則1週間。
- 登録料の配賦処理も代行者が行うので、徴収金額によって手数料がかかり、月次精算手数料とともに協会に振り込まれる際に控除される。
- 月末及び15日締めで、15日後入金となる。

(7)3×3委員会

- ア 2/23(土)3×3・EXETーナメントが明保野体育館で行われる。県協会から審判5名、TO5名を派遣。
- イ 2/24(日)トレセンで、第5回OPENと第2回U12県大会が行われる。
 - OPEN参加チーム数は男子9チーム、U12は男子31チーム女子12チームとなった。
- ウ 3/3(日)「3×3の日」に、FIBA3×3WORLD TOUR FINAL 宇都宮開催決定を祝した祭典を実施する
 - 市長が午後挨拶をくれることになっている。

(8)その他の報告

ア 全国専務理事連絡会の報告

- JBAでは、スポーツ界における不祥事に対して、インテグリティ委員会を発足した。
- PBAでは、裁定・規律関連規定を3/31までに策定し4/1より運用することになる。
- 日本バスケットボール応援プロジェクトに登録し盛り上げの機運を醸成してほしい。
- 2018年度のD-fundの報告は4/22まで、5/20に交付決定額を確定する。
- 返金が生じた場合には、2019年度の2回目の振込額で相殺する。
- 若年層の国際移籍についてFIBAより指導があり、全国大会に出場している留学生に対してFIBA連帯基金に3,000スイスフラン払うことになった。

イ 関東協会専務理事会議

- 2019年度以降はJBAにおいて、U18の育成強化は実施しないことになった。
- 関東高体連では、過去からの実績のある事業なので継続したいとの要望が出ている。
- 各都県協会から補助金を出すこととして実施する方向で調整する。
- 2020年度関東ミニ国体の開催地は小田原市となった。宿泊については見通しがついた状態であるが確保できない不安もある。

ウ 関東協会合同会議

- 2019年度の要項審査を行った。
- 審判部よりS級・A級審査の結果報告、インストラクター認定講習会の結果報告があった。
- 栃木県ではS級2名、A級3名合格、インストラクターは1級3名、2級8名、3級1名合格した。

エ BEX関係

- ①レギュラーシーズン順位:32勝8敗、東地区2位、全体2位、平均観客動員:3860名、全体2位
- ②天皇杯ファイナルラウンド準優勝
- ③事務所を駒生に移転し、協会事務局と近くなった。
- ④FIBAワールドカップ2019アジア地区2次予選、比江島・竹内選手が出場

オ その他

- ブレックスカップ結果報告
 - 男子:優勝 一条中 2位 BEXジュニアユース 3位 明治中 4位 豊田中
 - 女子:優勝 陽南中 2位 一条中 3位 鹿沼西中 4位 陽東中
 - ・この形式による開催は今年度が最後になる。来年度からは、リーグ戦とブレ大会県予選という形になる。今後検討していく。
- 指導者養成委員会より
 - ・2019年度より、C級・D級の指導者養成講習会を県協会が実施できるようになる。
 - ・講師はB級指導者が当たるが、県内には少ない。
 - ・今後B級指導者を増やしていきたい。
- 3/16のBEXゲームの協会席は、知的障害者チーム招待で確保していることを了承願う。

3 審議事項(議長:会長)

審議事項なし

4 あいさつ

上野副会長:4月からの活動がスムーズに行くよう各カテゴリの準備等よろしく願います。